

第6回交通の諸問題に関する検討会 福岡委員コメント
(事務局による聞き取り)

① 底流を貫くような骨太の考え方

「社会資本整備」と「交通」の関係では、「社会資本整備」の議論に「交通」を取り込まないといけないし、「交通」の側からも同様。「交通」に関する議論はその時々の大義名分を時流に合わせて乗り換えるのではなく、もっと底流を貫くような骨太の考え方が重要。

② 国土管理・保全の時代

震災により人々の考え方に変化が生じている。「命を守る」、「災害に上限なし」が、本来常に求められるもの。これからは、国土管理・保全が中心の時代。活力が低下していくことを前提に考える必要がある。

③ 高齢者ニーズへの対応

高齢化社会をどのようにとらえるかが大切である。高齢者の中には、経済的に裕福な方々も多い。そういった人たちは、自分で運転する自家用車ではなく、たとえ運賃が高くても、目的地まで連れていってくれる楽な交通手段を選択する傾向にある。そういったニーズに対応しなければならない。